

名阪国道のITS(高度道路交通システム)

これからの
取り組み

ITS技術の活用により、Ωカーブの交通事故を素早く検知

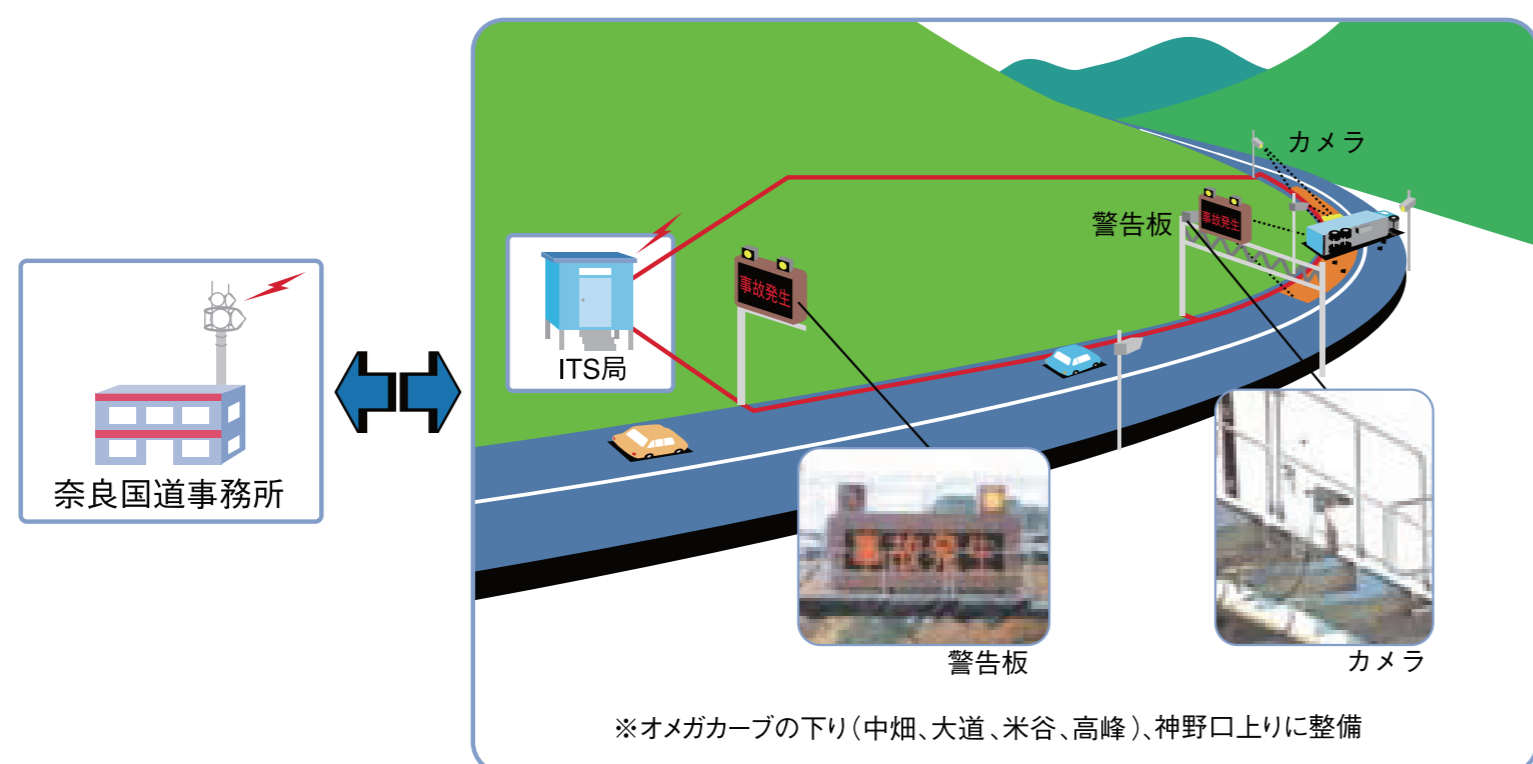
光ネットワーク・無線通信網が結ぶ名阪国道のITS

名阪国道では、最先端の通信技術であるITSを活用しています。ITS技術の活用により、交通事故などの突発事象の発生を素早く検知し、二次的交通事故を防ぎます。



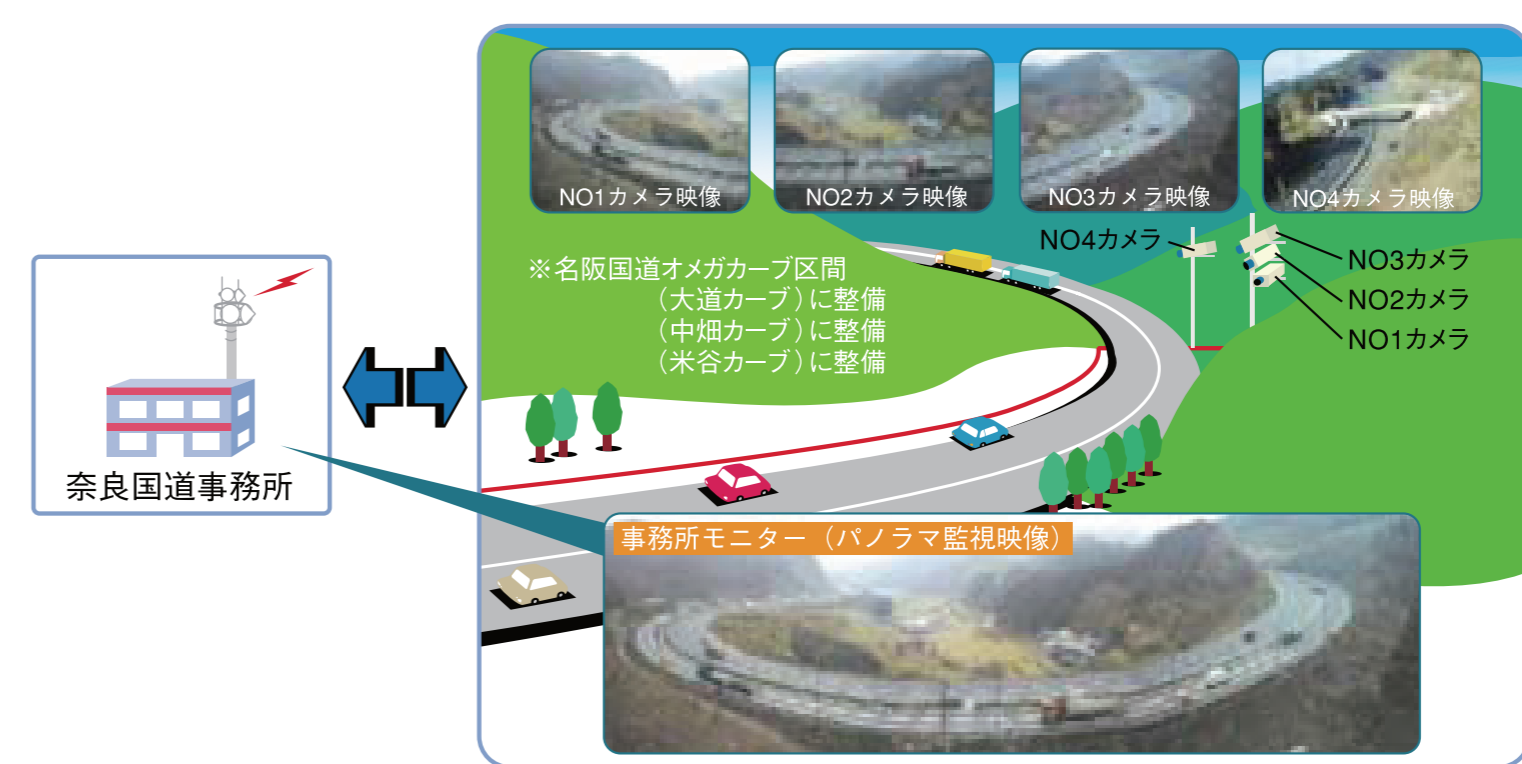
突発事象検出システム

監視カメラによる自動検出で、急カーブなどの事故多発区間では速度超過車両へ、事故発生時には後続車両へ警告を行います。迅速な対応で事故を予防します。



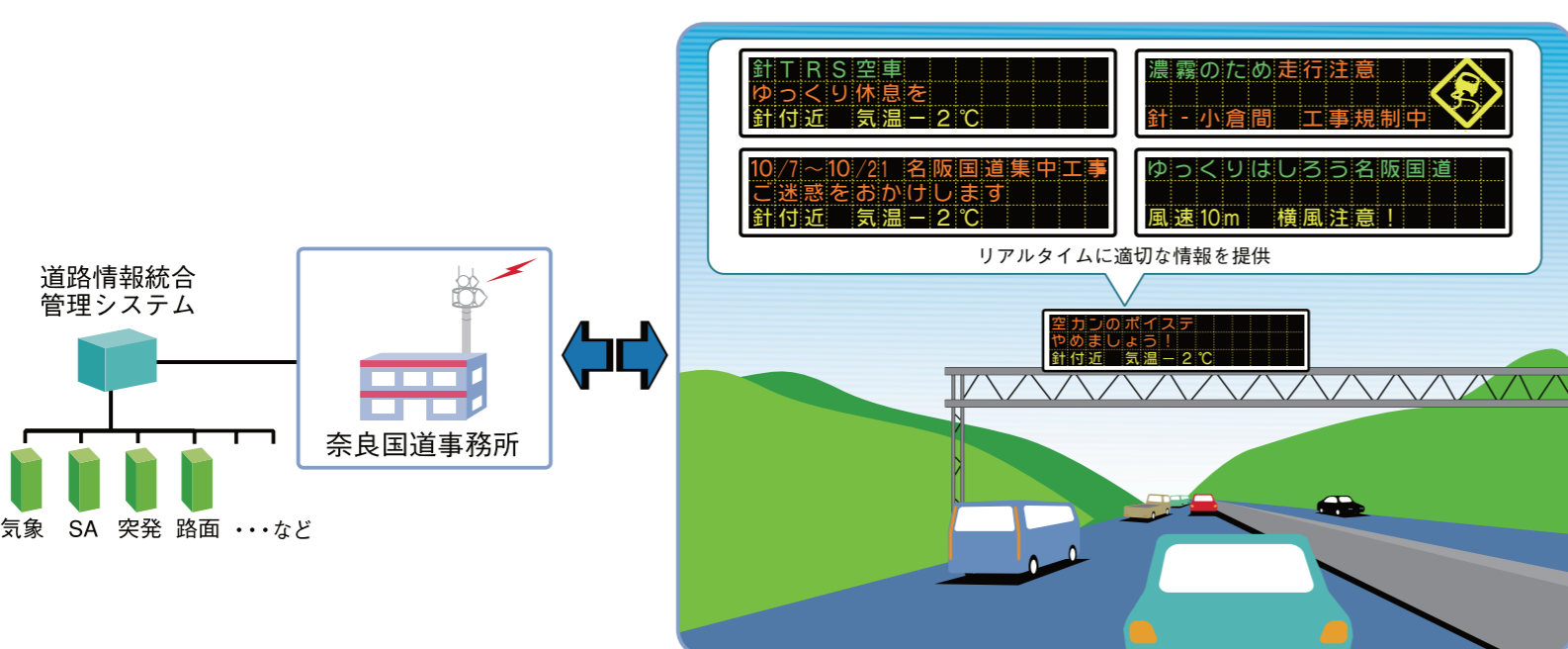
道路状況パノラマシステム

見通しの悪いカーブの連続する名阪国道オメガカーブ区間において、複数のカメラ映像を用いて広範囲を一画面に表示することで、事故などの状況把握が迅速化します。



道路情報板高度化システム

道路、気象、路面状況、SAの駐車場、啓蒙など、事務所で収集される様々な情報を、道路情報板でリアルタイムに提供し、ドライバーの安全で安心できる走行を支援します。



気象観測システム(雪害対策支援凍結予測システム)

全線の路側に密に設置された各種気象センサにより、著しい冬期の気象・路面の変化をリアルタイムで監視・予測し、利用者への迅速な情報提供を行うことで事故を予防しています。

